

平成29年1月放送総局長定例記者会見 要旨

○東日本大震災から6年に向けて（木田放送総局長）

・3/5<総合>NHKスペシャル「あの日 引き波が…～行方不明者2556人の真実～（仮）」  
NHKはことしも震災関連の番組を集中的に放送する。3月5日放送のNHKスペシャルでは、津波の激しい引き波に焦点を当て、行方不明者の家族や親族などに行った聞き取り調査でその実態を明らかにし、新たな教訓をあぶり出す。

・2/19<BS1>BS1スペシャル「ノーベル文学賞作家 アレクシエービッチの旅路  
～チェルノブイリからフクシマへ～」

チェルノブイリの放射能汚染の問題を見つめ、ノーベル文学賞作家の福島取材に密着。震災関連番組は、このほかにも3月11日を中心に放送する予定。

（詳細は報道資料を参照）

○2/26<総合>NHKスペシャル「又吉直樹 第二作への苦闘（仮）」（木田総局長）

お笑い芸人として活躍しつつ、「火花」で芥川賞を受賞した又吉さんの第二作の執筆に密着。文学性と大衆性の両立に苦悩して、なかなか物語が立ち上がらない創作の過程を半年間にわたり克明に記録する。また、ネットフリックスが配信した「火花」の連続ドラマを同じ2月26日から全10回で放送する予定。

（詳細は報道資料を参照）

○2/12<総合>NHKスペシャル「調査報告“見えない貧困”（仮）」（荒木副総局長）

“見えない貧困”の対策につなげようと、国や東京・大阪などの自治体が今年度、調査を実施。貧困を見えにくくしている要因が浮かび上がり、この状況を放置すれば、進学率の低迷や生活保護・社会保障費の増加などによって将来の社会的損失が40兆円に上るとするシンクタンクの試算もある。相対的貧困に直面する子どもたちの実態ルポとデータ解析から、見えない貧困を克服する道筋を明らかにしていく。

（詳細は報道資料を参照）

○2/26<BS1>明日世界が終わるとしても「いつまでも問い続ける～アウシュビッツ博物館  
ガイド・中谷剛～（仮）」（荒木副総局長）

ナチス・ドイツがユダヤ人を大量虐殺した強制収容所跡地にあるアウシュビッツ・ビルケナウ博物館で公式ガイドを務める中谷剛さん（50）。25歳でポーランドに渡り、仕事先でアウシュビッツでの体験談を聞き、博物館ガイドに挑戦。よそ者の自分に資格があるのか苦悩しながらも、元館長の助言で奮起し、悲劇を体験した生存者を訪ねて歴史を学び、ガイドとして語り続ける日々を描く。

（詳細は報道資料を参照）

○2/27<総合>「パンダ 山へ帰る～密着記録 野生化プロジェクト～」（安齋副総局長）

中国四川省の「中国パンダ保護研究センター」では、ジャイアントパンダ保護のため、人工繁殖で生まれたパンダを野生に帰し、子孫を残す「野生化プロジェクト」に取り組んでいる。出産から自然に帰すまで、人は一切介入せず、訓練用の山野でパンダの親子だけで生活させる。多くの映像を4Kで撮影し、初めて野生の中で1年間生き抜いたメスのジャイアントパンダ・ファージュウの記録を軸に、パンダの知られざる世界を描いていく。

（詳細は報道資料を参照）

○2/7～ <Eテレ> 趣味どきっ！「中村獅童の いざ歌舞伎へ」(安齋副総局長)

スポーツ・健康・芸術などさまざまなテーマをわかりやすく紹介する「趣味どきっ!」、今回は8回シリーズで歌舞伎を取り上げる。歌舞伎をよく知らない方でも楽しめる入門番組で、歌舞伎俳優の中村獅童さんが案内役を務める。篠山紀信さんなど、各界で活躍する方々との対談やインタビューも見どころ。  
(詳細は報道資料を参照)

○2/23<BS P>「偉人たちの健康診断」(安齋副総局長)

歴史上の偉人たちの「健康へのこだわり」から、健やかに生きるためのヒントを探ろうという、新しい知的エンターテインメント番組。戦国一の健康オタクと言われる徳川家康の天下取りへの道を、家康が大切にした「みそ」に注目して見ていく。また豊臣秀吉の人生からは、茶の湯と心の健康の関係をひもとく。健康問題に高い関心を寄せる関根勤さんや医学・歴史の専門家たちが、歴史上のエピソードを身近な健康の話題に照らし合わせながら井戸端トークを繰り広げる。

(詳細は報道資料を参照)